

証券コード: 1994

高橋カーテンウォール工業株式会社

2015年度
決算説明資料

代表取締役社長：高橋 武治

2016年2月15日
1

2015年度連結決算概要

【単位:百万円】

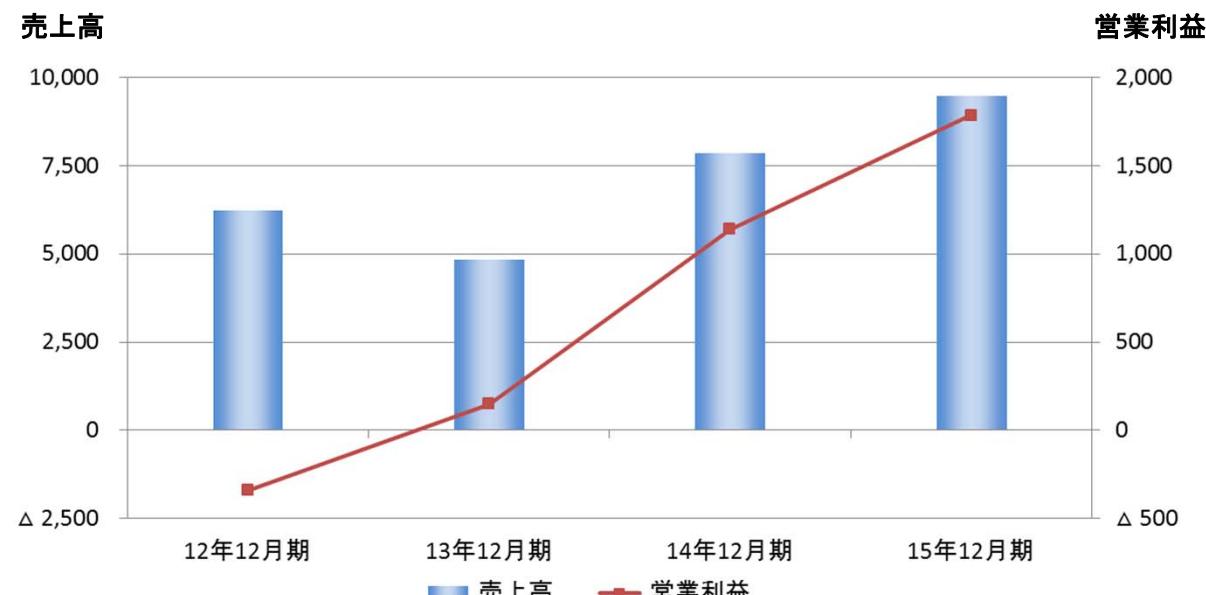
	2015年12月期 計画値	2015年12月期 決算	増減額
売上高	9,150	9,476	326
営業利益	1,580	1,787	207
経常利益	1,580	1,791	211
当期純利益	1,550	1,736	186

- ・ 計画値は、中間期に上方修正した数字
- ・ 売上高は、2016年12月期に見込んでいた一部の工事の完成が当期に前倒しとなり計画比326百万円増加
- ・ 増収に加えて工場の効率化推進によるコストダウンにより各利益とも計画比増加

連結決算概要(売上高・営業利益推移)

【単位:百万円】

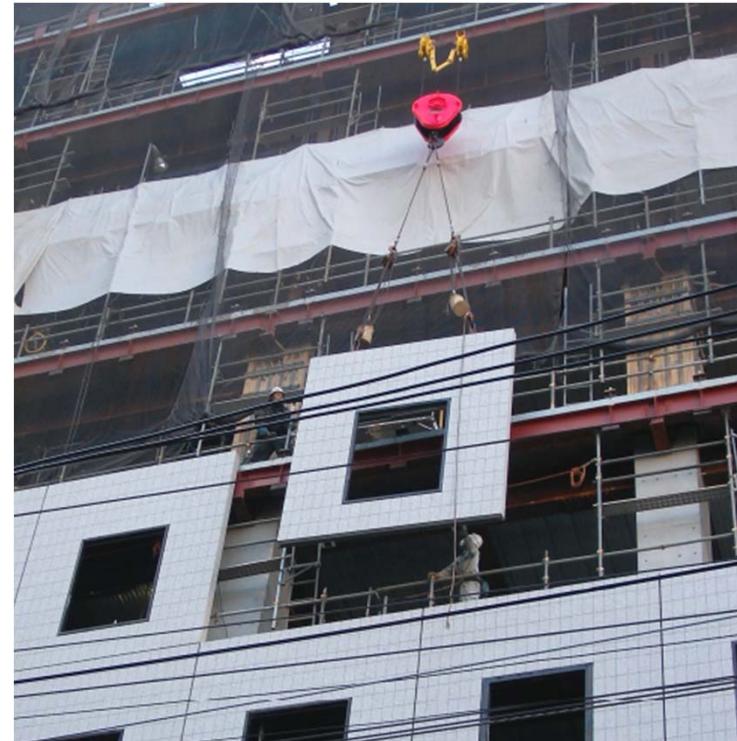
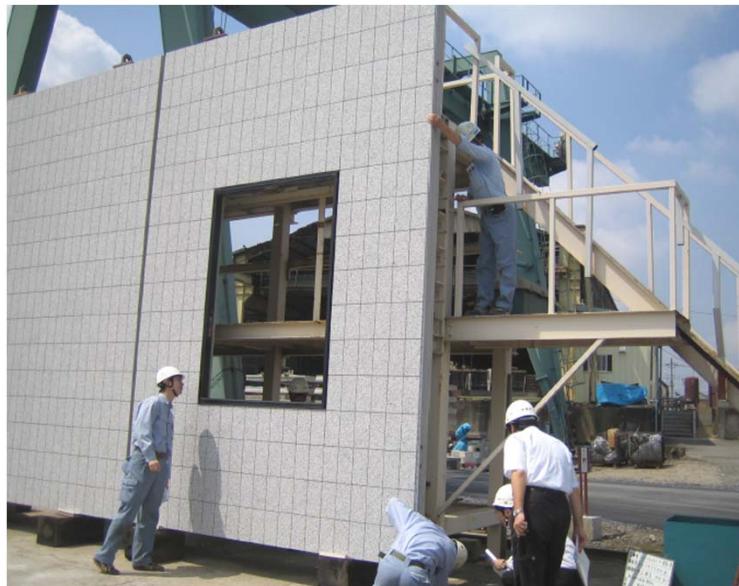
	2012年12月期 決算	2013年12月期 決算	2014年12月期 決算	2015年12月期 決算
売上高	6,228	4,840	7,861	9,476
営業利益	△ 341	150	1,141	1,787
経常利益	△ 353	164	1,134	1,791
当期純利益	△ 384	183	930	1,736



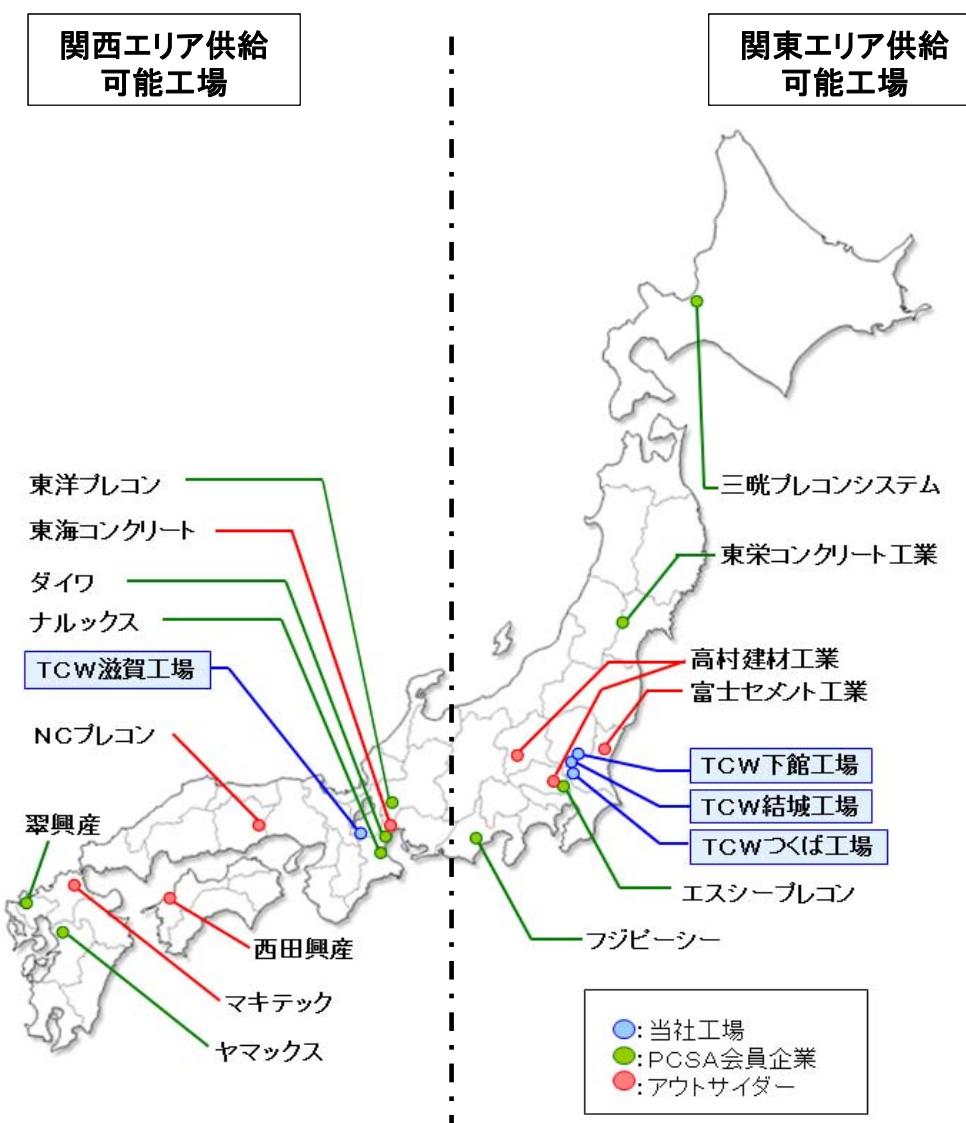
PCカーテンウォール紹介

「PCカーテンウォール工法とは」

- ・パネル状のビル外壁を工場で生産し、建設現場の作業効率を上げる工法。
- ・高層ビルをはじめ、大規模ビルの標準的な工法として定着。



PC生産拠点の分布(カーテンウォール事業)



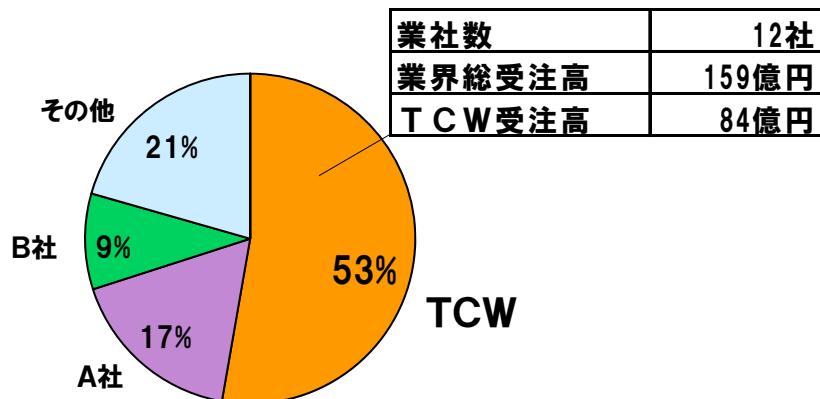
カーテンウォールは
1枚あたり数 t と重いため、
一般的に物件近くの工場に
発注される。

【関東と関西の比較（2015年度）】

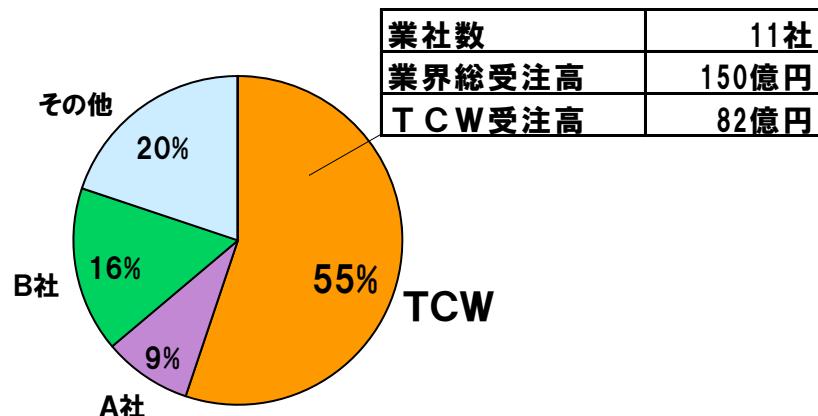
	関東メーカー	関西メーカー
市場規模(受注額)※	85 億	65 億
主要競合社数	7 社	10 社

TCW全国マーケットシェア(2014-2015年度)

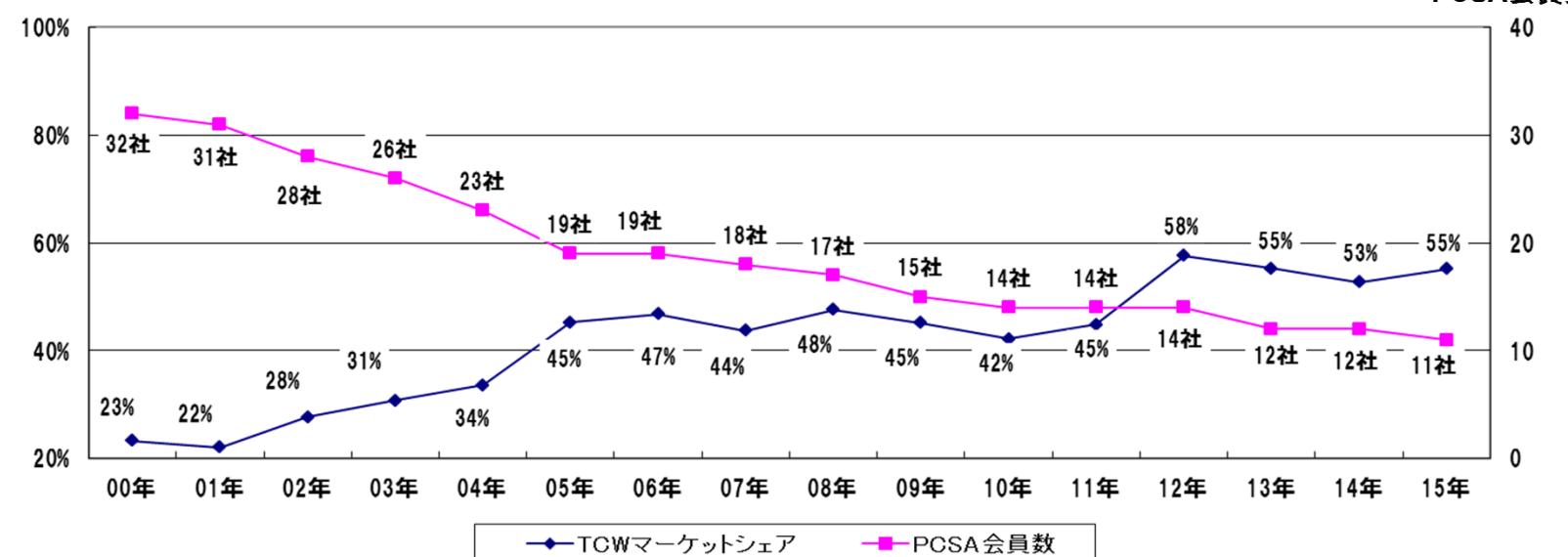
2014年度



2015年度



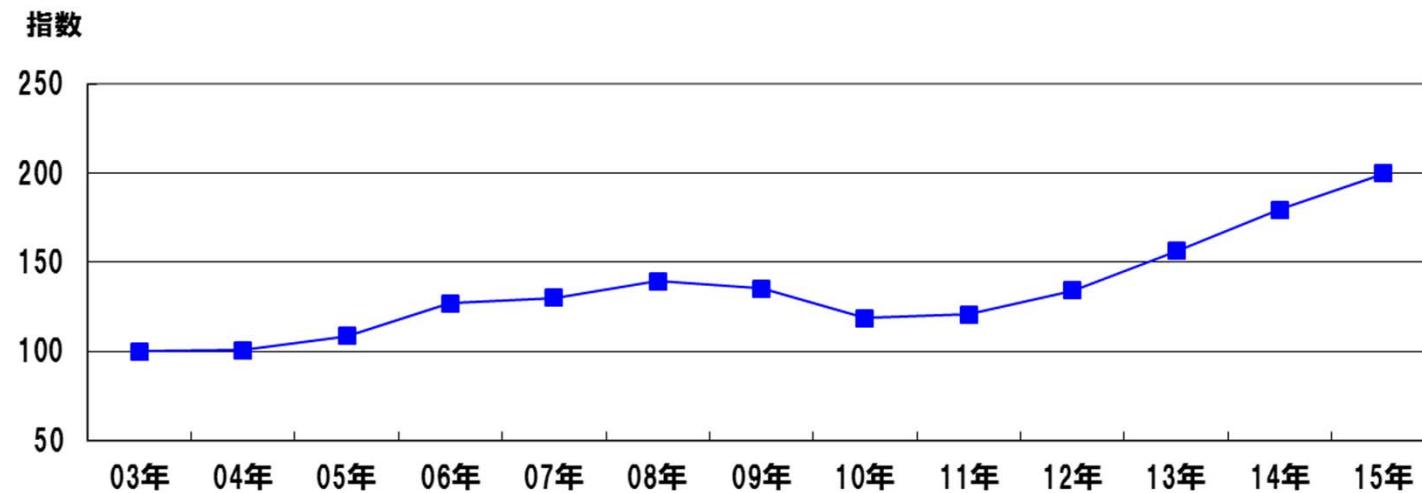
マーケットシェア



資料:PCSA協会マーケティング部会及び当社ヒアリング数字

受注単価・売上粗利推移

【受注単価推移】



【売上粗利推移】



注:受注から売上計上まで1~2年程度の期間を要する

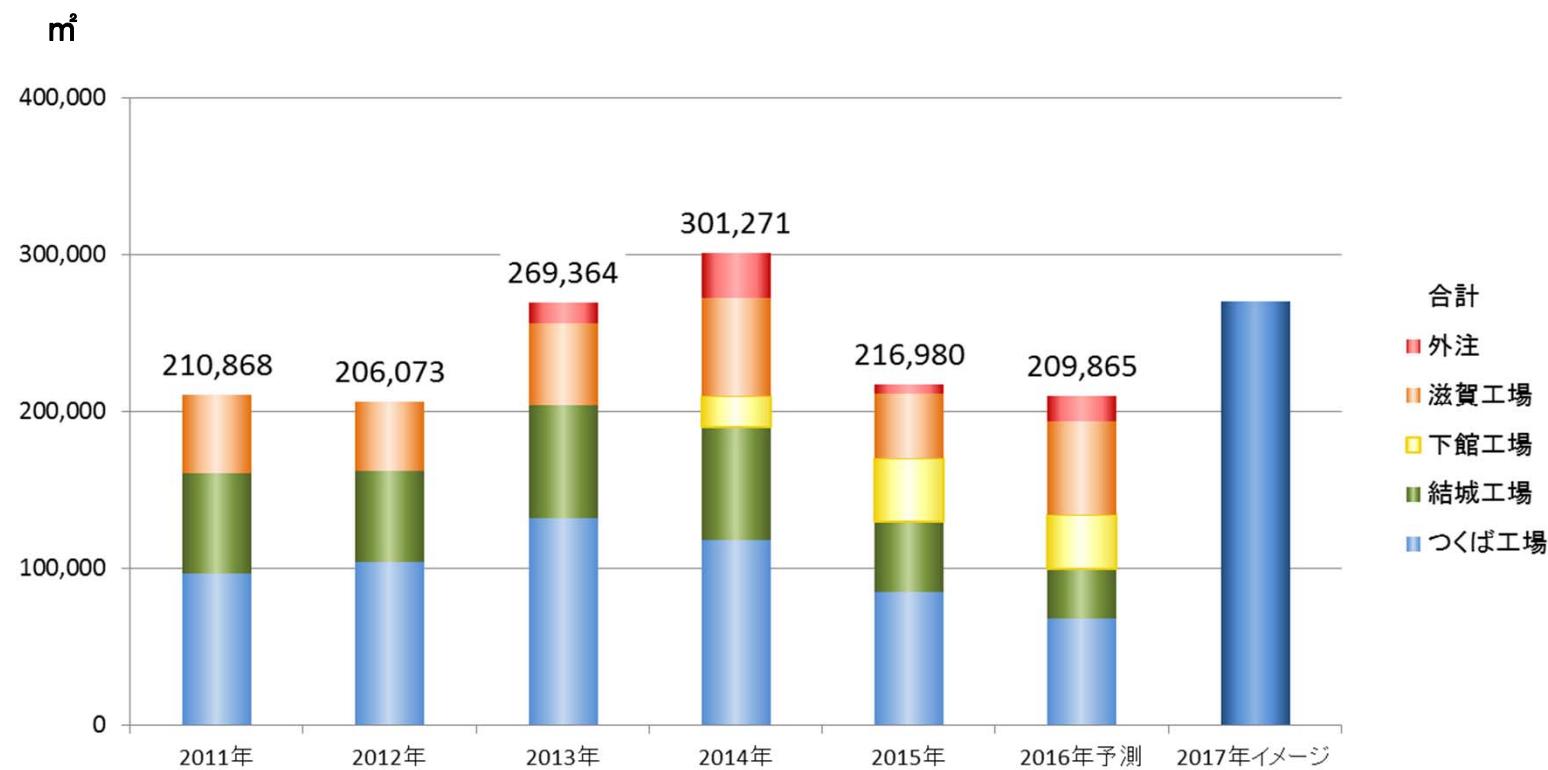
7

当社の戦略 PC事業の更なる強化

1. 適正受注単価の維持と生産の効率化により、品質・収益を更に向上させる。
2. 受け身の営業から提案営業へ。
(差別化商品を設計事務所にPRしてPCカーテンウォールの市場を拡大する。)
3. 更なる財務体質の強化

工場別生産量推移

- 建設需要減退期のため生産量減少
- 2016年度末より生産増加の見込み



差別化商品(アーキコン)

アーキコンとは

自然石の風合いをコンクリートで表現したPCカーテンウォール

●特徴

PCパネル表面にタイルや石材などを打ち込むのではなく、表面に加工を施して自然石の風合いを再現できる。

表面加工一例



研ぎ出し

研磨機でコンクリート表面を平滑に研磨し、骨材などを露出させる手法。

サンドblast

砂を圧縮空気と混合し、高速度でコンクリート表面に吹付け
る仕上げ。



差別化商品(アーキコン)の代表的な施工事例



グランフロント大阪
南館・北館
(大阪市北区)



ザ・ペニンシュラ東京
(千代田区)

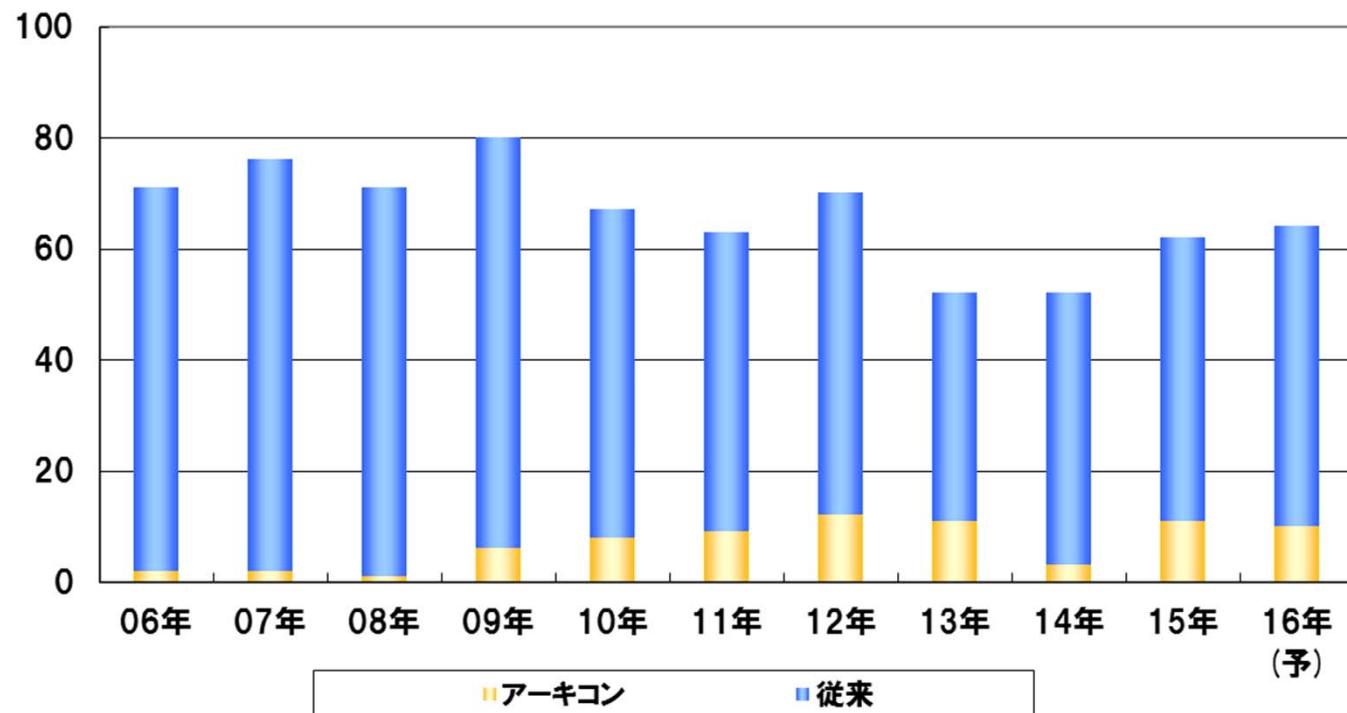


二子玉川rise
(世田谷区)

アーキコン案件数推移(完工工事基準)

コンクリート系外装の中で一定の地位を確立している。

売上案件数



日射対策ニーズの高まり①

建物ガラス面拡大に伴い、夏の日射を防ぐため、縦横に日よけを設ける建物が増えている。

→設計士は薄くシャープなデザインの日よけを求めて
いるが、PCカーテンウォールは最低12cmの厚さが必
要。その厚さを許容する設計士が当社に発注している。

獨協大学学生センター
(埼玉県草加市)



GOOD DESIGN
AWARD 2013



東京スクエアガーデン
(中央区)

日射対策ニーズの高まり②

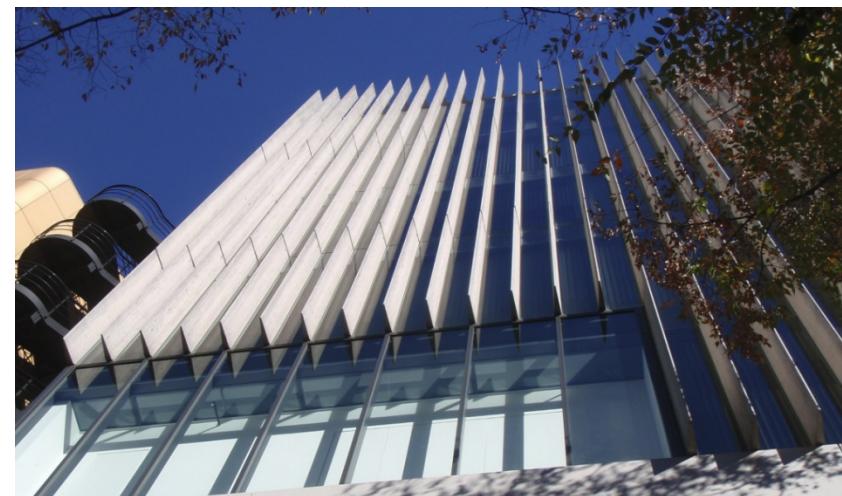
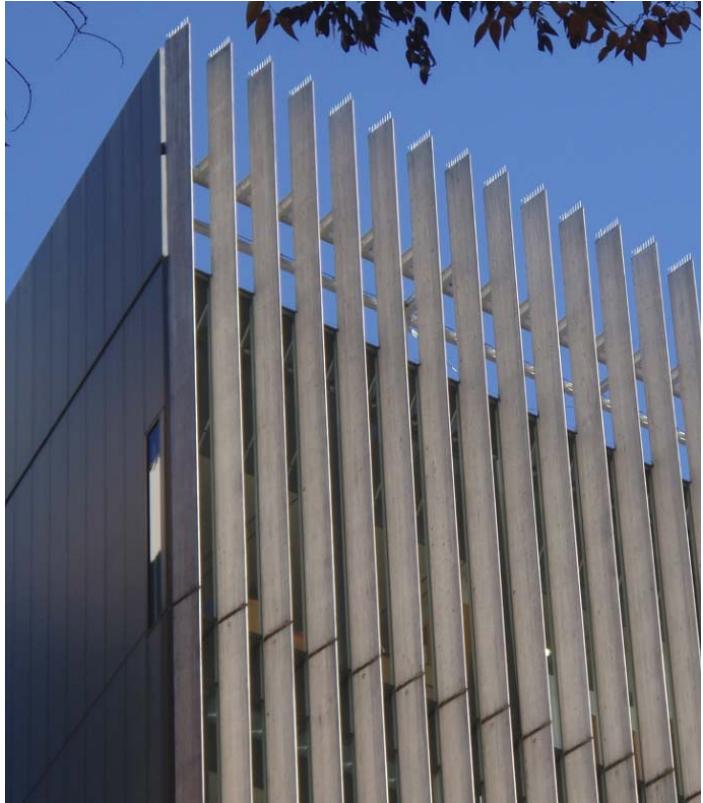


テラススクエア
(東京都千代田区)



京葉銀行千葉みなと本部
(千葉市中央区)

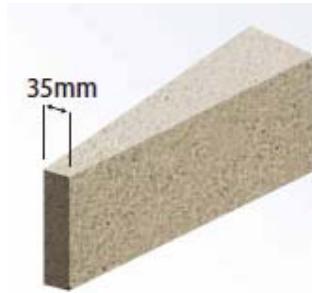
より薄い素材の存在(アルミニ・スチール・木などの他部材)



ONE表参道
(港区)

セメント系材料(フェロクリート)でより薄い日よけをつくる技術を開発

一般的なコンクリートでは不可能だった薄さを実現



→ 3.5cmの薄さの製品をつくることが可能。日よけに利用することでエコ、デザイン、質感、全ての面を満たす、画期的な商品。積極的なPRで需要を喚起する予定。

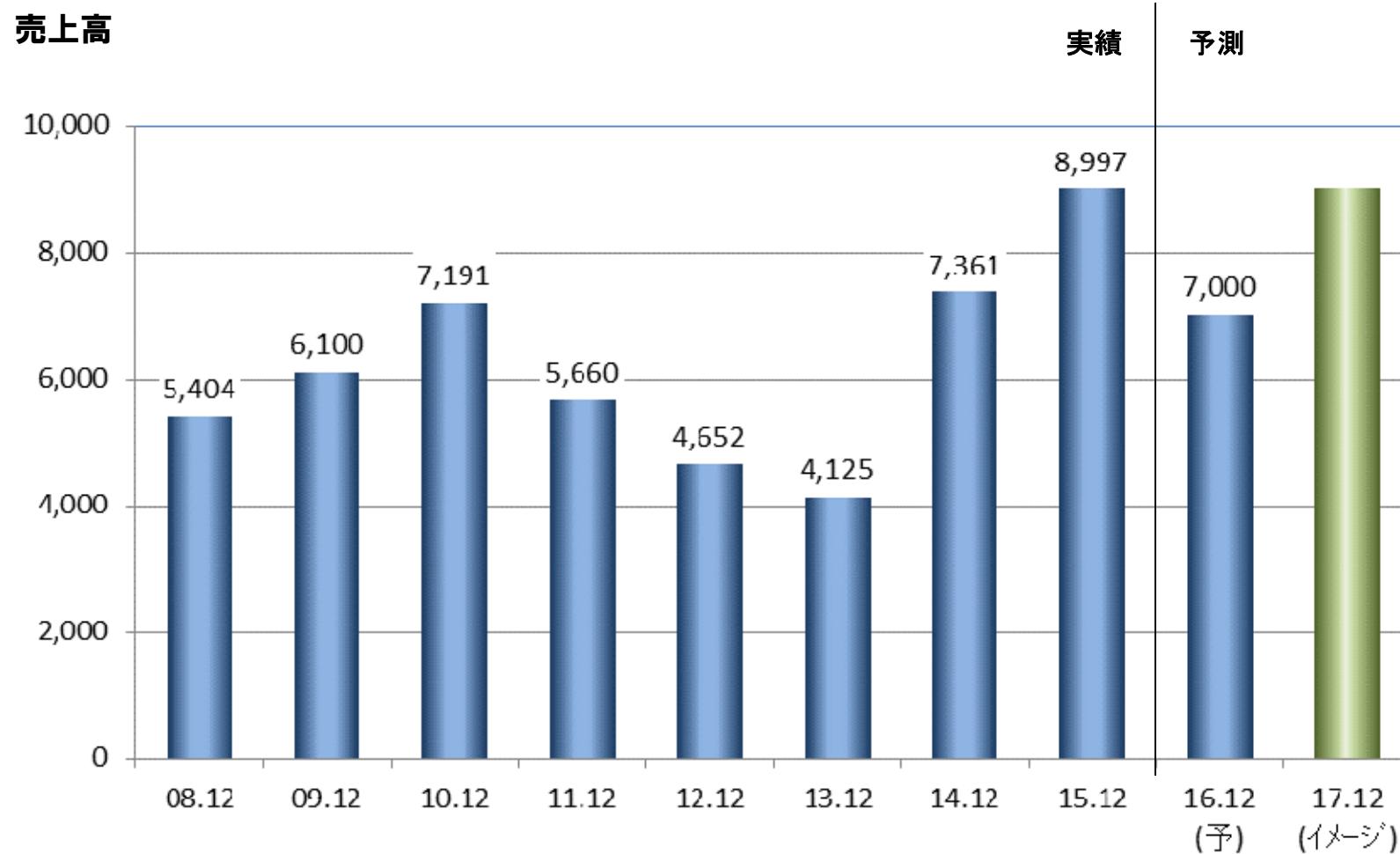


フェロクリート内部に埋め込まれた金網がひび割れを防止しているので、薄くても丈夫な製品がつくれる。



PC事業売上高推移(完工工事基準)

単位:百万円



アクア施設部

水を活かした空間のコンセプト及び全体計画を提案し、
設計から施工・監理までをトータルに実施。

商品内容



可動床・可動階段



救助・訓練用施設



競技用プール

可動床プールの紹介

ボタンひとつでプールの床面を昇降させ利用目的に適した水深に変えることができます。

可動床面を分割したり、水深0mまで上昇させ床面に人工芝を敷くことにより、多目的な陸上スペースとして使用することも可能です。



星野学園

小学生から高校生までの利用者に対応した可動床システムを採用

場所 埼玉県川越市

仕様 ステンレス・タイル仕上げ、
可動床システム

救助・訓練用プールの紹介

震災後から訓練用プールなどのニーズが高まっている。

水難救助・潜水訓練・燃焼実験棟・水害救助訓練・転落救助訓練など、
様々な施設を提案する。

京都市消防活動総合センター



潜水訓練プール
仕様 水深10メートル円形プール



河川救助訓練プール
仕様 水流発生型25メートルプール

施工事例



富山県広域消防防災センター

場所 富山県

仕様 ステンレス製無塗装仕上

可動床付潜水訓練用プール(水深10m)



日本食塩製造株式会社

場所 神奈川県

仕様 食塩製造用ステンレス製溶解槽

→プール以外の分野への進出



明石海浜公園屋外プール

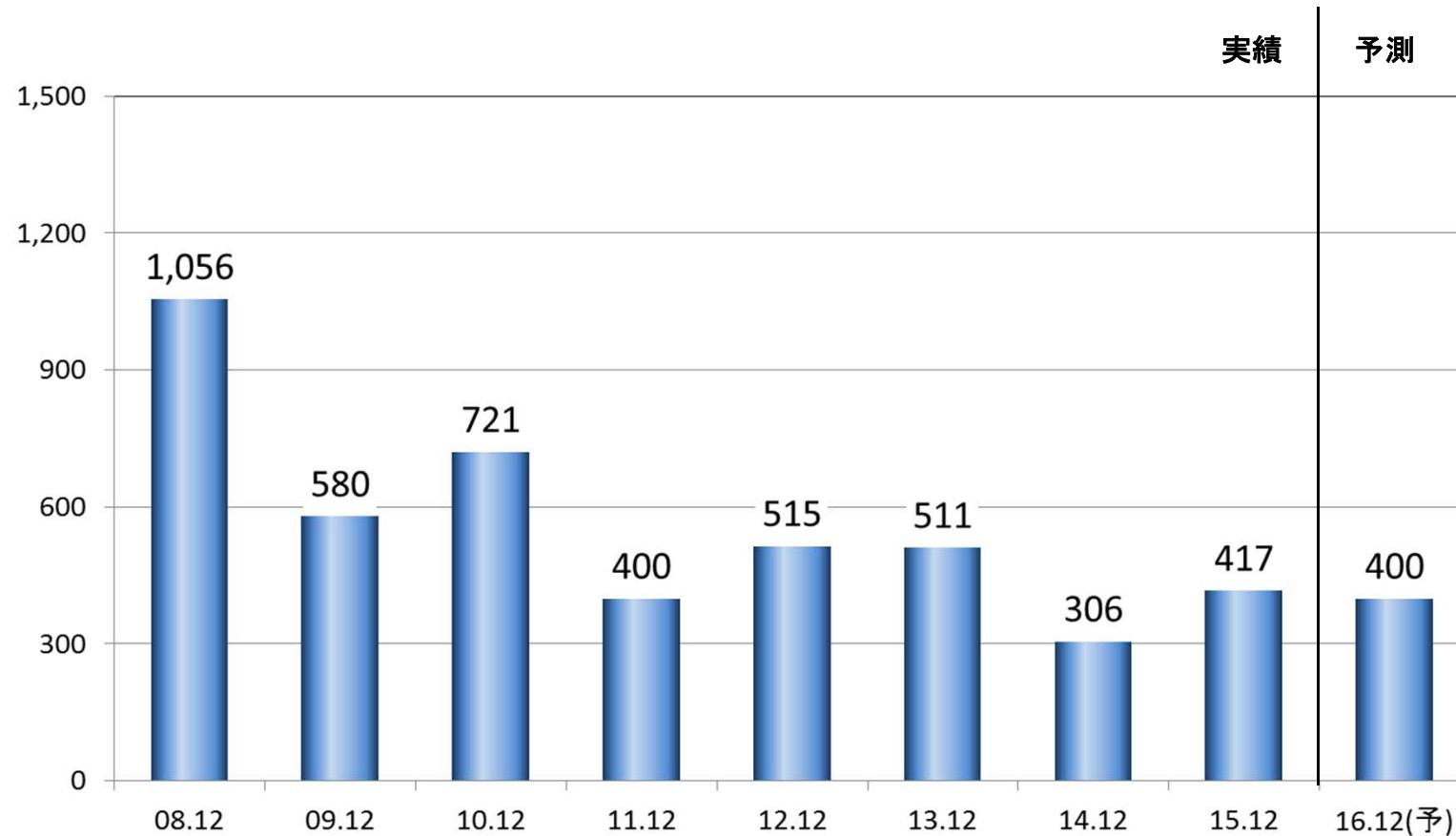
場所 兵庫県明石市

仕様 ステンレス製プール タイル仕上

アクア施設部売上高推移

単位:百万円

売上高



アクア施設部の今後の方向性

- オリンピック関連プールの受注を目指す
- 防災訓練用施設や産業分野での採用など新しい分野の受注増加を目指す
- PC事業部と共同で行う設計事務所への説明会を継続し、知名度を上げ受注を増加させる

2016年度連結通期予測

【単位:百万円】

	2015年12月期 決算	利益率	2016年通期予測	利益率	増減率
売上高	9,476	—	7,500	—	△ 20.9%
営業利益	1,787	18.9%	830	11.1%	△ 53.6%
経常利益	1,791	18.9%	850	11.3%	△ 52.6%
当期純利益	1,736	18.3%	1,000	13.3%	△ 42.4%

- 税効果会計による法人税等の調整により2016年度当期純利益額が150百万円増加を見込む
- 2017年度は增收になる見込み

配当推移

~2009年

配当10円を基本とする



2010年～2013年

2010年からの3期連続赤字により配当0円



2014年

業績回復により20円まで復配

(普通配当10円+創立50周年記念配当10円)



2015年

配当 30円

(初の中間配当10円+期末配当 20円)



【見通しに関する注意事項】

本資料に掲載されている中で、下期の予測あるいは今後の見通し等が含まれていますが、実際の結果は様々な要因により記述内容と大きく異なる可能性があります。

参考資料：売上高業績推移表

【単位:百万円】

	連結								
	07年12月期	08年12月期	09年12月期	10年12月期	11年12月期	12年12月期	13年12月期	14年12月期	15年12月期
売上高	8,594	12,475	11,207	8,964	7,247	6,228	4,840	7,861	9,476
営業利益	172	409	315	-298	-596	-341	150	1,141	1,787
経常利益	71	273	258	-373	-598	-353	164	1,134	1,791
当期利益	306	151	187	-425	-2,599	-384	183	930	1,736

	TCW 単体								
	07年12月期	08年12月期	09年12月期	10年12月期	11年12月期	12年12月期	13年12月期	14年12月期	15年12月期
売上高	5,553	6,531	6,623	7,913	6,060	5,284	4,719	7,766	9,414
営業利益	364	435	338	237	-391	-322	151	1,151	1,786
経常利益	367	411	341	213	-351	-358	135	978	1,782
当期利益	242	117	307	-444	-2,512	-387	75	930	1,737

経常利益推移

